ハンドブックの作成にあたって

この「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた分かる！できる！学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック」は、通常の学級における分かりやすい授業づくりや過ごしやすい学びの場づくりの推進を目的としています。

ユニバーサルデザインとは、調整または特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲ですべての人が使用することができるものであることから、その視点を取り入れ、特別な教育的支援を必要とする児童生徒を含めたすべての児童生徒を対象としています。

本県では、これまで、平成２６年３月に「高等学校における授業のアクセシブルデザイン～生徒の多様な学びを支えるハンドブック」を発行し、高等学校の生徒を対象とした多様な学びを支えるための様々な視点や方法について周知するとともに、活用の推進を図ってきました。

今回、インクルーシブ教育システムの更なる構築を目指し、小・中学校の児童生徒を対象としたハンドブックを作成することとしました。学校全体で分かりやすい授業づくりを推進するための３つの視点として『すべての子どもを対象とした校内支援体制の在り方』『すべての子どもにとって過ごしやすい環境づくり』『「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方』を設定し、それぞれ実践事例等を掲載しています。

本ハンドブックを、すべての教職員に活用していただき、すべての児童生徒が「分かる！できる！」と感じられる授業づくりと学校全体で取り組む特別支援教育の一層の推進に役立てていただきたいと思います。

令和４年３月

宮崎県教育庁特別支援教育課